



河野としのり

レポート

今、地域の皆さんや議員から多く意見が出るのですが、ホストクラブとかキャバクラといった接待を伴う飲食店が感染源として特定化されピンポイントとして把握されているのにそのままにされている。食中毒を起こした店は営業停止

今、地域の皆さんや議員から多く意見が出るのですが、ホストクラブとかキャバクラといった接待を伴う飲食店が感染源として特定化されピンポイントとして把握されているのにそのままにされている。食中毒を起こした店は営業停止

熊谷千葉市長

新型コロナウイルス感染の問題でどの首長もそうですが、熊谷市長もずっとあれこれ考えられ対策をやっておられます。しかし、ここに来て関東はまだ感染拡大は収まらず、東京都はすごい状態になって来ています。(7月10日時点)

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する為に



処分を受けるのに、夜の接待の店は、コロナ感染源であっても、放置され、訪れる若い人々の旺盛な動きにより都県を越えて感染症が広がっていく。

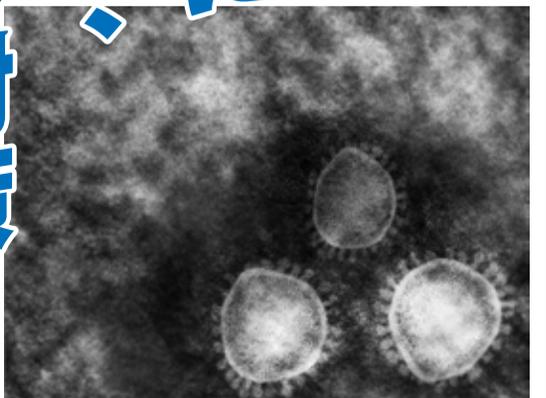
それでは、一般の店や、駅や商店街通りや、人の集まりに対し「増えた増えた」と叫ばれ、ニュースでも大きく取り上げられ、一般の人々の活動の所為にされて、それ故、地域全体の経済は抑えられ、儲けが無く生きることも困難な人々が増え続けている。この辺り、市長はどう思われていますか、



熊谷千葉市長と意見交換

千葉市役所市長室にて(2020年7月10日)

大雨、洪水、土砂災害、停電、 コロナ禍の避難所等の対策 新型コロナウイルス感染症の 拡大防止の為に



諸外国でも、やはり、キャバクラ、ホストクラブといったナイトクラブ関係ですが、接待を伴う飲食店に対して、「ここが一番のコロナの震源地になる」という考え方の下で、それぞれの国が対策を取られていて、私も緊急事態宣言が解除された際には、「この対策をしっかりと取らないとまた同じ事になる」と申し上げて来たんです。

次のステージに入っていると、思います。やはり、後手後手になっていくのかなという感も有ります。

千葉市に関してはホストクラブ、キャバクラ関係者で感染者及びクラスターも出ていない状況です(7月10日現在)。私は「問題は、そこだよ」と千葉市の保健福祉部門には言い続けて来ており、そこに対して「こういう感染症予防対策をとって頂きたい」など、様々な形で呼び掛けをして来ました。勿論千葉市だけではなく、県としてもそうした所に対する対策は、先手先手を打ってやっ



て頂きたいと思っています。

河野としのり県議

その辺になりますと、どこが積極的に自粛要請をするのか、感染症元の分り切ったピンポイントのお店やお店群に対して、どの行政が果敢に関わっていくのか、国には非常事態宣言とか法律でもって慎重ですがやって行けますし、県はある程度の協力要請とか、その協力の為の予算などを使ってやって行くと思います。どこかがタイミングを逸せず確実に具体的な行動をとるのか、政治としての責任というものを隠すことなく見せて行っていくと思います。

熊谷千葉市長

我々は、今週、いや、先週ぐらいからキャバクラやホストクラブに対する一層の対策を県に求めている、ちょうど今日（7月10日現在）、県に対して要望文を出す予定です。

その中には、今河野県議が仰った様に、これら業種に対して休業要請も含めて県として対策を取って欲しいということとを申し上げています。

で、我々は、先ほど申し上げた通りキャバクラやホストクラブの方々に柔軟にPCR検査を受けられる体制を作って、呼びかけの文章もだいたい前に出しましたけれど、そういうアプローチを今やっている所です。

河野としのり県議

熊谷市長の方でPCR検査とか病床の確保とか、千葉市は常に先に先に行っておられる

事に、我々はいつも安心するんですけれど、新型コロナウイルス感染症対策において、県と市の連携とか、在り方というのが、まだまだこれからも振り返ったり、さらなる改善を目指しての課題が当然出て来るとは思いますけれど、今思われているのはどういう所でしょうか。

熊谷千葉市長

県は県で、非常に良くやって頂いてると思うのですが、大事な事は「先回りをすべし」ということなんです。起きてから考えだす、「東京都がやり始めて考える」のではなく、予め最悪のシナリオを考えておいて、そしてそれに近づいた時、どのタイミングでどの打ち手を打つか、事前に整理しておかなければいけないと思

ます。

例えば、我々千葉市の場合は、仮にそうしたキャバクラ、ホストクラブに対し休業要請をした場合、何店舗が対象で、幾らの協力金を出した場合、幾らの予算にするかなど、私たちはもうとっくに整理を終えている訳ですね、そういうのを含めて県はされてないのではないかと思います。

それ（休業要請）をするかしないかは、勿論考え方としてどちらでも良いのですが、どちらの判断も戦略的にあり得ると思います。ですが、少なくとも、そういった事をやれる検討研究は事前にして置かないと、後手を踏んでしまうので、そこは事前に考えていて欲しいと思います。

オンライン化行政への しっかりとした 準備について

河野としのり県議

特別定額給付金の国のオン

ライン申請については、事前に十分な制度設計がな



河野としのり県議、 熊谷市長と



まったため、重複申請や入力誤りなどが多発し、迅速な支給に支障が出ました。それに対して、市長は非常に動きが早く、直ぐに国に対して政令指定都市を代表して、「将来の緊急事態に備え、平時から効率的なオンライン申請システムの整備」等を求めました。

今回はコロナによる支援の一環で行われましたけれど、市長は、これからはオンライン申請などオンライン化は行政では避けて通れないと考えられたのです。その為に、まだまだ様々な不備があり、国や県や市も、やり易さを求めて積極的に改善すべきではないかと提言している訳ですね。

熊谷千葉市長

河野県議も元々こういう分

オンライン教育も、 限界もしっかり踏まえ、 進化を

河野としのり県議

一方教育に関しては、市長

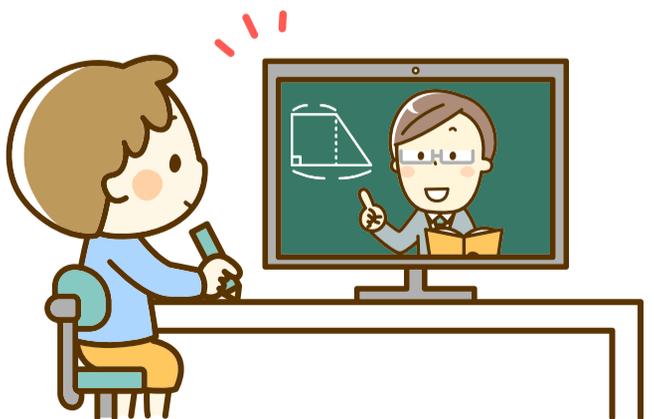
は色々な所で話されていますけれど、オンラインで出来るも

野にはお詳しいですが、やはり私は平時から仕組みを作っておく事は大事だと思っています。

私達は3月末「ちばしチェンジ宣言」というものを出させて頂いて、「これを機に行政として少し進化しなければいけない」ということで、今市役所は待ち時間もオンラインで見えますし、オンラインで手続き出来るものも出てきていますし、来年の4月には、私達はマイナンバーカードにある電子証明を使って、もっとオンラインでの手続きの数を増やしていく予定です。このコロナを契機にそうした仕組みの構築を千葉市はしていきたい。

のはやるとしてかつ、「やっぱり、子どもに対しては先生と接して生きる力が重要だ」と仰っておられます。私は、そのご主張を聞いて非常に安心致しました。

これから夏で、熊谷市長のお陰で千葉市は全小中学校にクーラーが設置されましたし、これからは従来通りの今までの教師と生徒の生の接触が回復します。勿論教育のオンラ



ください。

千葉県議会 インターネット中継 河野としのり

検索 右の QR コードを読み込んで観ることも出来ます。

イン化も進められるでしょうが、その二つの方向は既に整理されているんじゃないでしょうか、

熊谷千葉市長

オンライン教育でも出来る範囲は沢山あります、一方、教員もそうでしょうが、何よりも同じ世代の友達たちと一緒に学び行動する事でしか得られない「人間的なスキル」と言うのでしょつか、それは特にこの現代社会で強く求められていますから、そういった非認知能力を育てる為には、やっぱり集団における人との交わりが不可欠だと思います。

河野としの熊谷千葉市意見交換



受動喫煙対策で千葉市は禁煙効果の事例を創って行く

河野としのり県議

受動喫煙対策についてなんです、私もラーメン店に入って何処からかタバコの臭いや煙が来ると、もう味も変わるし、やはりがんや脳卒中とか



ですから、オンライン教育にも良い所も有りますし、オンライン教育では補えないものも有る訳です。そこはしっかり見て両方をコンビネーションで出来る様にして行きたいと考えています。

大容量の通信ネットワークを備え、子どもたち一人ひとりに個別最適化された、創造性を育むICT教育環境の実現を目指すものの中で、全員ひとり一台という端末を今年度中にも整備して行きますので、それをどう使うかということも我々は教育現場と一緒にやって行こうと思っています。

行政の一番の目的は市民の健康を守り、健康寿命を延ばす事

やはり本来であれば県単位でやって行くのが望ましい政策だと思っております。もう健康への悪影響ははっきりと科学的に明らかだと思っております、私達行政の一番の目的は「市民の皆様の健康を守り、健康寿命を延ばす」というこ

熊谷千葉市長

色々な病気を誘発しますので非常に気に成ります。千葉市は東京に次いで、今年の4月1日以前から営業している小さな飲食店でも従業員がいる場合は原則屋内禁煙と受動喫煙の実質防止を先駆けてやっておられますが、千葉市民はその受動喫煙の恐ろしい健康への弊害をよく理解していますから「よくやってくれた」というご意見が多く、市民から聞こえます。これは県全体もそうすべきではないかと思

とでありますから、望まない受動喫煙をされない空間を作って行くというのは、例えば県の健康行政にとっても非常に重要なことではないかと思

河野としのり県議

県全体で広めて行くのは望ましい方向ですね、受動喫煙を受けなければ亡くならずに済んだ方の数は、日本全体で交通事故死者の約四倍の年間約1万5000人と言われ大変な事です。

熊谷千葉市長

オリンピックに向けて都市改善を進める

千葉西警察署の交差点付近にスマートインターチェンジ

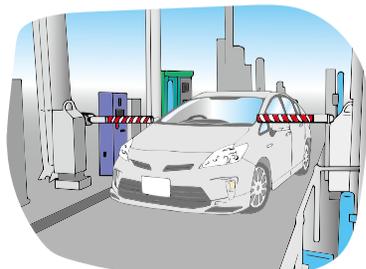
河野としのり県議

市長がオリンピックのため都市改善だけは進めていこうということ、受動喫煙防止対策もそうですが、世界のレベルに添う様にし、又京葉線の新駅も出来る事に成り、りんかい線との直通運転について

「受動喫煙によって飲食店とかの売り上げが減った」という事例は、世界各国で殆どは無いです。我々千葉市が今実際に導入していますので、それを千葉市でやって証明したかったのですが、残念ながらコロナの関係で、今は、それどころではない状況となっております、

熊谷千葉市長

今議論を進めている美浜区の関係ですと、例えば千葉西警察署の交差点付近にスマートインターチェンジを作ろうとしております。今東京へは湾岸習志野まで行って、乗るような状況だと思えますが、このインターチェンジが出来て来れば、東京方面へのアクセスもしくは東京から戻って来た時のアクセスは相当便利になると思います。周辺環境への影響をしっかりと配慮した上で、そういったスマートインターチェンジを今われわれは国とネクスト東日本と具体的に協議しています。それで比較的短期的に住民と意見交換の準備が出来るのではないかと思



台風、豪雨、土砂災害、 暴風、停電等の対策と コロナ禍における避難所とは

河野としのり県議

熊本県の豪雨は洪水、土砂災害をもたらした。昨年の方が亡くなられました。昨年の台風15号を踏まえて千葉市は、激しい雨による浸水など重点地域をあらかじめ決め、前もって防災準備をしているとお聞きしています。

型コロナ感染症対策を踏まえ
体育館など
大きな場所
よりも公民
館など空調
などを整備
し分散型の
避難所を進
化させたり、
避難所や地



域の停電対策も進めているとお聞きしましたが、

熊谷千葉市長

市の管理する河川は既に監視体制を強化しておりますけれど、多くは県管理となっております。県の方に水位計を増設する様な要請を出させて頂いています。

私達の考え方としては大量の雨が降った時ここだけは守らなければいけないというところを重点地域として位置づけて雨水管の整備とかをやっていることになっていますのでさらなる浸水対策はしっかりとっておきたいと思っています。

私達は全ての避難所に太陽光と蓄電池を整理するという意欲的な計画を今出しています。民間の企業と連携して、民間資本によって、3カ年で全

整備をしておまおうとしています。そうしますと大規模停電でも避難所に行けば電気は使えるという状況が生まれまますので、地域の支援拠点に避難所が成って行くという所ですね。

更に、東電さんと千葉市がこの首都圏で最初に、倒木処理を一緒に連携して一番早いスピードで処理するという協定を結んでいます。

後は東電さんの方から事前に「この木が危ない」ということを事前に聞いて、予防的措置として伐採をして頂いたり、又電源車も我々と協議して、必要な所に東電の電源車を配備して頂く、そういう整理をして協定を締結して、この取り組みは今他市にも広がっています。

幕張ベイタウンの ゴミ空気輸送システムの回復を

河野としのり県議

幕張ベイタウンのゴミ空気輸送システムの故障の件ですが、このゴミ空気輸送システムは、2万6000人の住民が毎日関わる大事なライフラインですが、熊谷市長になって幕張ベイタウンにも積極的に関与して行くこの方針を出され、このシステムの運用を市の方に移管して下さり住民は本当に感謝しています。

既に市長の耳にも入っていると思いますが、ゴミ輸送配管の曲がりに開いたたった6ミリの穴でベイタウン全ゴミ輸送システムがストップし、ゴミ



投函口の周りには千葉市の指定ごみ袋の山が出来ている状態です。勿論市のゴミ運搬車が来て下さいますが、マンショ

ンによってはゴミ投函の部屋から溢れこの夏になって臭いも漂って、住民の方々はこのライフラインの機能不全の一刻も早い回復を願っている所です。

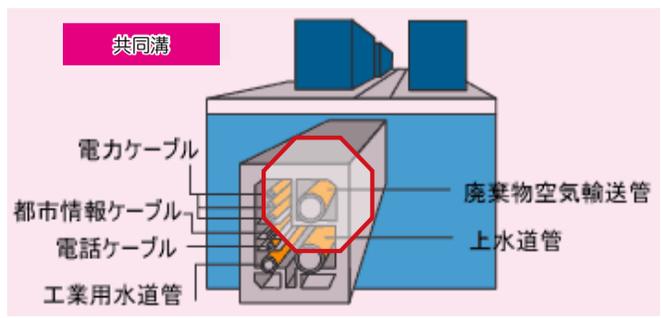
熊谷千葉市長

はい、ベイタウンの方々にとって、この空気輸送システムが切っても切れない非常に重要なものである事は我々も強く認識しています。

私も所管の方には、どんな手段でも良いから、一日でも早く稼働できる手段を考えて欲しいという話をずっと言っています。今、一旦燃えるゴミだけ試験的に収集してみるという事で、一歩ですが進んでいるということ把握していますので、それが上手く行けば、本格復旧までの間少

すが不便を解消できるのかなと思っています。いずれにしても全力で早め

市の最重要課題の一つだとして認識しています。まず、



幕張ベイパークとベイタウン とのスムーズな行き来を

河野としのり県議

幕張ベイタウンと1万人が入居予定である幕張ベイパークとが今盛んに学校の児童も含めて交流がなされています。二つの街の交わる京葉線の高架下の交差点に横断歩道をつけてもらったんですけれど、電車線路敷地内の高架下にスチール製のJRの物置小屋があり、その物置小屋がある箇所は、歩道の形状から、迂回したりして、スムーズに行けない状態になっております。

何かお力を貸していただけないでしょうか、

熊谷千葉市長

分りました、この道は幕張ベイパークとベイタウンの子供たちが往来する道で、保護者の方も気になされていると思います。私たちもこの箇所は対策について検討しなければならぬと考えていますので、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。



河野としのり
プロフィール

昭和48年 早稲田大学理工学部卒業
50年 早稲田大学大学院修士課程修了
同7年 東洋エンジニアリング株式会社入社
平成7年 千葉県議会議員初当選
16年 千葉県監査委員

17年 防災対策委員
20年 民主党連幹事長
令和元年 千葉県議会議員7期当選
現在 立憲民主党千葉県連合会副代表

河野としのり事務所
〒261-0013 千葉市美浜区下瀬1-2-2 幕張タワー305
TEL.043-211-0024

